

特別養護老人ホーム

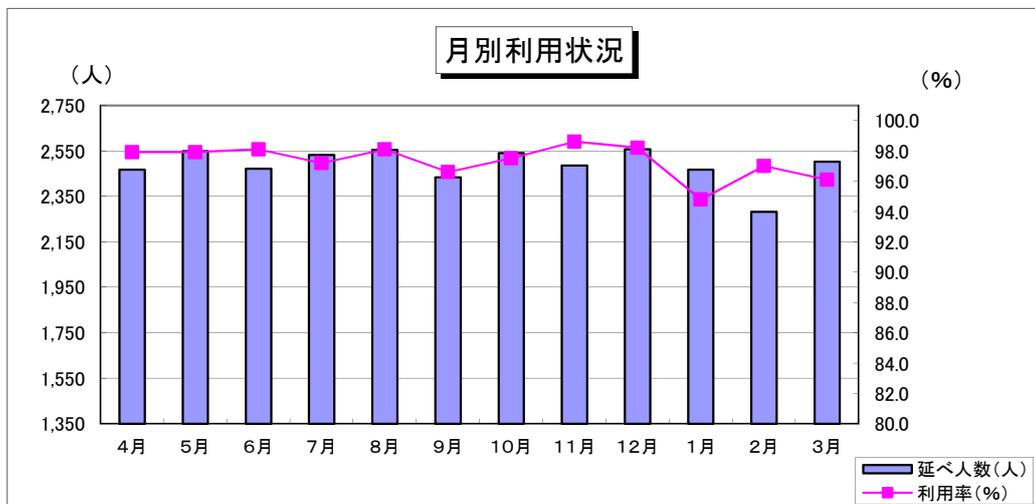
特別養護老人ホームとは「介護老人福祉施設」ともいい、介護保険制度下の要介護者で、身体上、精神上に著しい障害があつて、ご家庭で介護を受けられない方に対し、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上のサービス、機能訓練、健康管理及び療養上のサービスをご提供して、自立に向けて、安定した生活を維持して頂くことを目的としています。又、ゆあほうむ榛原では個別処遇を重視し、グループ単位での介護に取り組んでおります。

- (1) 事業開始年月日
 平成 7年12月1日
 平成16年10月1日 新館クレーレ(ユニット型)オープン

- | | |
|--|--|
| <p>(2) 入所定員</p> <p>①本館 入所者 54人
 ショートステイ 16人</p> <p>②新館 入所者 30人</p> | <p>(3) 入所者の部屋</p> <p>①本館 1人部屋 10室
 2人部屋 2室
 4人部屋 14室</p> <p>②新館 1人部屋 30室</p> |
|--|--|

- (4) 入所者の利用状況

	28年				29年							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数(人)	2,468	2,549	2,471	2,532	2,554	2,434	2,540	2,485	2,557	2,468	2,282	2,503
利用率(%)	97.9	97.9	98.1	97.2	98.1	96.6	97.5	98.6	98.2	94.8	97.0	96.1



- (5) 入退所の状況

		28年				29年				(人)			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	在宅	2	0	1	2	1	1	0	0	0	4	0	3
	他施設等	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0
退所	死亡等	1	1	3	1	1	1	1	0	1	4	2	2

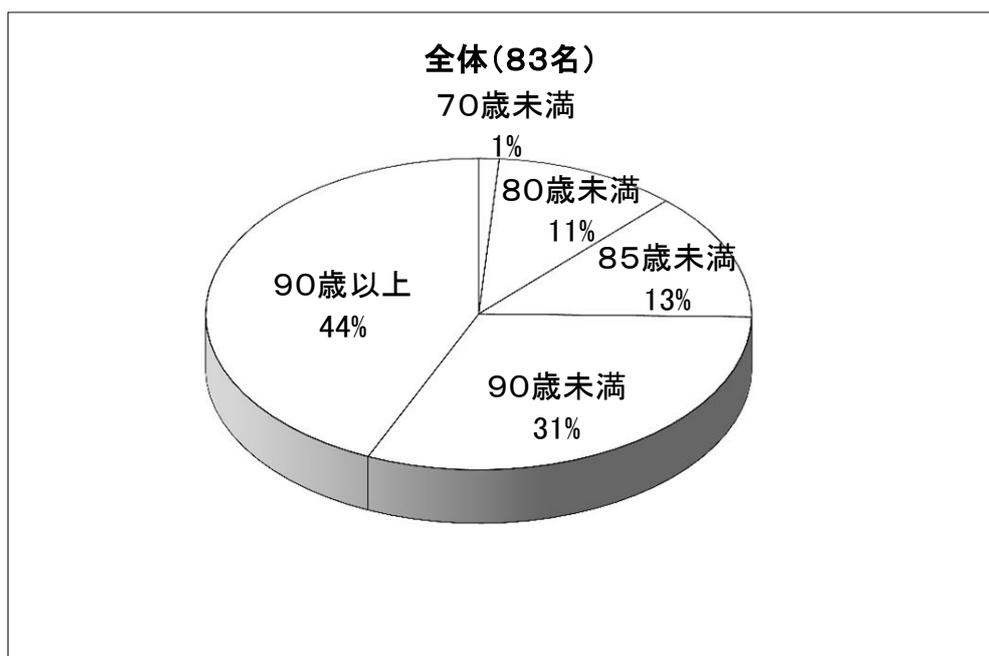
(6) 入所者の状況(年齢・性別)

平均年齢：男 85.8歳，女 88.3歳，全体 87.9歳

(平成29年3月31日現在)

(人)

	50歳以上 70歳未満	70歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	計
男	0	2	4	5	3	14
女	1	7	7	21	33	69
計	1	9	11	26	36	83



(7) 入退院状況

(人)

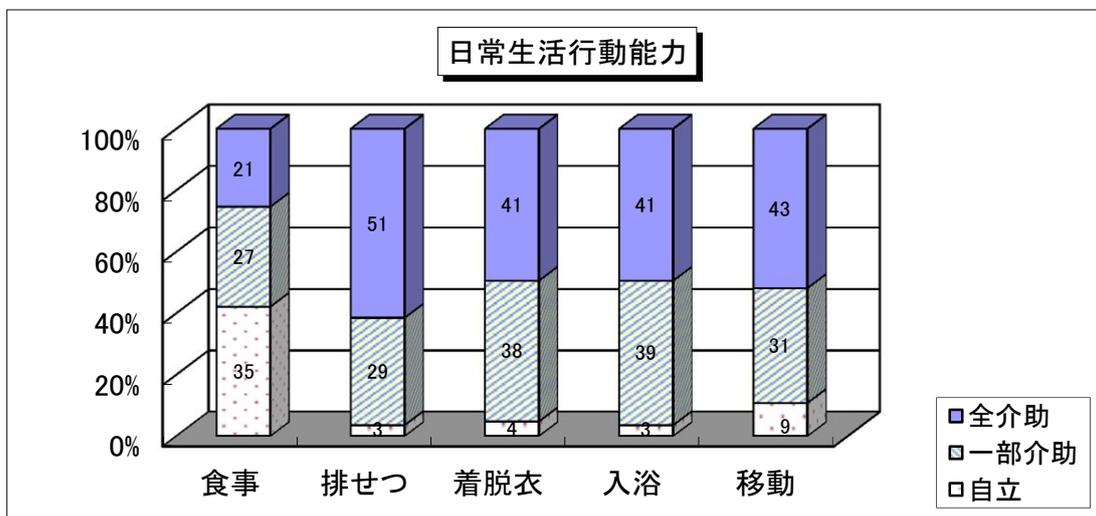
	入院			退院			月末 入院数	入院理由
	男	女	計	男	女	計		
28年 4月	0	3	3	1	2	3	2	尿路感染症・出血性膀胱炎・両肺肺炎
5月	0	0	0	0	2	2	0	
6月	0	4	4	0	1	1	3	脱水症・肺炎・尿路感染症・右肺炎
7月	0	3	3	0	4	4	2	吐血・イレウス・右肺炎
8月	1	2	3	0	3	3	2	両肺肺炎・虚血性腸炎・誤嚥性肺炎
9月	0	4	4	1	1	2	4	血友病・右大腿骨頸部骨折・尿路感染症
10月	1	1	2	0	4	4	2	右下肢蜂窩織炎・左大腿転子部骨折
11月	0	0	0	1	1	2	0	
12月	3	2	5	1	0	1	4	心筋梗塞・肺炎・脱水・誤嚥性肺炎
29年 1月	0	2	2	2	3	5	1	誤嚥性肺炎・脳梗塞
2月	1	2	3	0	1	1	3	高ナトリウム血症・アルツハイマー型認知症
3月	0	3	3	1	2	3	3	脳梗塞・食欲不振・脱水・衰弱
合計	6	26	32	7	24	31		

(8) 日常生活行動能力の状況

(平成29年3月31日現在)

(人)

区分	食事			排せつ			着脱衣			入浴			移動			車椅子使用者数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数 (人)	35	27	21	3	29	51	4	38	41	3	39	41	9	31	43	69
割合 (%)	42.2	32.5	25.3	3.6	34.9	61.5	4.8	45.8	49.4	3.6	47.0	49.4	10.8	37.3	51.9	83.1

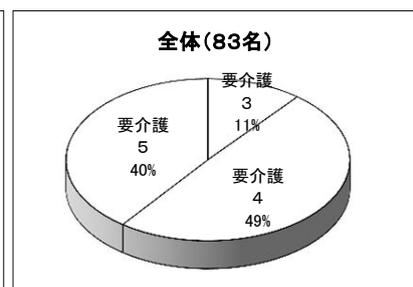
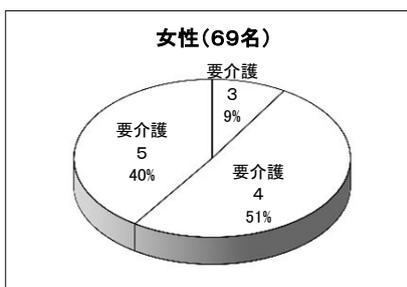
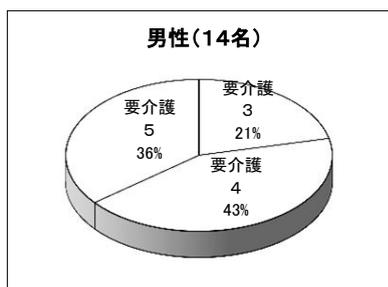


(9) 要介護度別状況

(平成29年3月31日現在)

(人)

	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	3	6	5	14
女	6	35	28	69
合計	9	41	33	83
平均要介護度	4.29			



(10) 外出・外泊状況

(人)

		28年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年	2月	3月	計
		4月									1月			
外出	男	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	6
	女	2	8	4	3	2	3	1	2	3	7	4	5	44
外泊	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	1	0	2	4	0	1	0	3	0	0	1	14
計		5	10	5	6	6	3	2	3	6	7	5	6	64

(11) 家族との面会状況

(平成29年3月31日現在)

	ほとんど 毎日	週に 1回位	半月に 1回位	1ヵ月 1回位	3ヵ月 1回位	半年に 1回位	1年に 1回位	全く なし	計
人数	15	12	14	25	10	4	1	2	83
出身世帯への状況報告 広報誌「ゆあほうむ榛原通信」年3回発行									

(12) 事業目標・評価(本館(2階・3階)・クレーレ)

[本館(2階そーれ)]

平成28年度 本館(2階そーれ)事業目標

- 1 個別性を重視しながらケアを提供し、個人・チームとしてのケアの質の向上を図る
 - 心に寄り添うケアをする
 - ご利用者様一人一人に目を向け、何を求められておられるのか、何を訴えているのか考える

【事業目標に対する評価】

年間を通し、「個別ケア」を意識し、ユニット内でのケア検討・Pチームよりのフィードバック内容も参考にケアの展開に努めてきた。

しかし、「個別ケア」について理解出来ていないのでは？と思われる現状もあった。施設は、ご利用者様が日々の生活を送る場所であり、それぞれのご利用者様一人一人を中心に、その暮らし方を考えなければならないが、業務の都合・職員の都合に合わせた方法でケアが行われているケースも多く見られた。形式上「個別に対応する」ということが「個別ケア」ではなく、ご利用者様が望む、或いはふさわしいと思われる生活のあり方を職員一人一人が理解し、その生活の実現に向けてチームで支援を行うことが、「個別ケア」である。チームとして、一人のご利用者様の暮らしを支えるケアに取り組むことができこそ、ケアの質の向上・目標の達成が図れると思う。

また、個々の能力についても特養・フローア・ユニット目標・自身のキャリアを念頭に啓発活動を続けていく必要性があると思われる。

平成29年度 本館(2階そーれ)事業目標

- 1 ご利用者様個々の特性に応じたケアの展開(個別ケア)に向け、チーム及び職員個々が知識・技術の向上を図ると共に、継続的なOJTを通じ能力の維持・更なる向上にも努める
 - ご利用者様との関係を築き上げていくと共に、ご利用者様個人のサポートを行える環境を作り上げ、チームとしてケアの質の向上を図る
 - 職員個々が得た知識や技術をチーム内で共有し個別ケアに活かす

[本館(3階フェリーチェ)]

平成28年度 本館(3階フェリーチェ)事業目標

- 1 尊厳を守るケアの実践
 - ご利用者様の個別性に応じたケア方法の検討
 - 尊厳を守る為にその方の個別特性を理解する
- 2 働きやすい職場環境を作る
 - 職員間のストレスフリーを作る
 - 余裕の持てる業務の見直しをその都度行う

【事業目標に対する評価】

全体的に個別ケアを意識するようになり、【出来ていない部分】に気づくことができるようになった。また、出来ていないことに対しては、会議内の議題に挙げ、課題の改善にも取り組んできた。職員同士の尊厳の保持という部分にも着目すると、これらの尊厳が守ることが出来なければ、ご利用者様への良質なケアに繋がらない。今後、今以上に職員の尊厳保持という部分も視野に、チームとしてケアを行っていく必要がある。

以前と比較すると、職員同士のコミュニケーションを図る機会が増し、話のしやすい環境が出来ているように感じる。その結果、長い間離職者も現れていないという良い結果に繋がっている。しかし、業務が多忙になるとメンタルコントロールが難しく、表情が陰しくなり、コミュニケーションが取れない時もあったのが事実である。このような時こそ、自身の心と向き合いコントロールし、コミュニケーションを取るための方法を考え、実践に移すことが必要になってくると思われる。

平成29年度 本館(3階フェリーチェ)事業目標

- 1 職員同士の尊厳を守り、チームケアに努める
 - 職員の尊厳とは何かを常に考え行動し、チームワークの向上に努める
 - 職員同士の尊厳を保持し、チームワークの向上に努める
- 2 尊厳を守る個別ケアの実践
 - ご利用者様の想いを理解しケアに繋げる
 - ご利用者様の個別特性を理解し、その方の想いに沿ったケアを行う

[クレアーレ]

平成28年度 クレアーレ事業目標

- 1 介護施設としての生活の質を向上していく
 - 特養施設としての長所・短所を理解して、行える最大限の個別ケアを提供することを目指す
 - エビデンスに基づいたサービスの提供
 - 生活の場としての環境づくり(ハード面)
 - 多職種と連携強化

【事業目標に対する評価】

特養施設の長所である多職種協働体制の中で、入所から終末期までで変化する介護ニーズに合わせて、随時、カンファレンス等を実施し、ケアの根拠を明確化することに取り組むことが出来たと感じている。また、記録の質の向上についても、根拠の明確化を目指し、24時間シート等のツールを用いて個別の情報や課題を共有することにより、QOCの向上に繋がれたと感じる。

ハード面では、清潔だけでなく、場所面に求められる環境の違いを考え、それぞれに適した状態にすることを職員全体の意識の中に浸透させることを目標として改善に取り組んできた。さらに改善の必要な部分や整理整頓の意識付けに課題が残っているため、継続して取り組んでいく必要がある。

全体を通して課長・チーフリーダー・リーダーが中心となってい、全体の底上げは出来たと感じるが、その中で、リーダー候補や指導者等、現在のリーダーに成り代わり、業務改善や課題解決を行う人材を育成することに課題が残ったと感じる。その為、新年度では人材育成を目標の中心に据えて取り組んでいく。

平成29年度 クレアーレ事業目標

- 1 介護施設としての生活の質を向上していく
 - 指導者・次期リーダー職員の育成
 - 特養施設としての長所・短所を理解した、最大限の個別ケアの実践
 - エビデンスに基づいたサービスの提供
 - 生活の場としての環境づくり(ハード面)
 - 多職種との連携強化

(13) 主な年間行事開催状況

年	月	日	行 事	備 考	
28年	4月	3日	DVD鑑賞会(2階)	皆でお笑いのDVD鑑賞	
		10日	春の踊りの会	皆で踊りを鑑賞	
		22日	ごちそうの日	ちらし寿司	
		24日	お好み焼き&焼きそば会(2階)	好きなお好み焼き・焼きそばを食べて楽しむ	
	5月	24日	春の遠足(3階)	榛原山辺三ふれあい広場	
		5日	こどもの日	かしわ餅	
		8日	春の遠足(クレーレ)	榛原山辺三ふれあい広場	
		15日	春の遠足(2階)	榛原山辺三ふれあい広場	
		31日	お好み焼きパーティー(3階)	皆で楽しくお好み焼きを頂く	
		6月	12日	カラオケ大会	歌を歌って皆で楽しむ
			24日	ごちそうの日	ちらし寿司
	25日		初夏のかき氷カフェ(クレーレ)	楽しくかき氷作り	
	7月	3日	七夕祭り(3階)	皆で七夕飾りを作る	
		7日	七夕祭り(クレーレ)	皆で七夕飾りを作る	
		8日	榛原東小学校慰問	児童の紙芝居・紙人形劇を鑑賞	
		10日	七夕祭り(2階)	皆で七夕に願いをこめて楽しい七夕作り	
		11日	東榛原幼稚園慰問	幼稚園児に大喜び	
		15日	榛原西幼稚園慰問	幼稚園児に大喜び	
	8月	24日	消防訓練(夜間)	皆で真剣に取り組み	
		26日	ごちそうの日	ちらし寿司	
	9月	4日	映画鑑賞会(2階)	映画を見て楽しく過ごす	
		10日	フェスティバル	ご家族の方の楽しく過ごす	
		11日	敬老会	皆でお祝いをして一日楽しく過ごす	
		20日	お彼岸法要	仏壇にお参りをする	
		23日	ごちそうの日	ちらし寿司	
	10月	9日	秋の大運動会(3階)	秋の運動会を楽しむ	
		28日	ごちそうの日	ちらし寿司	
		30日	秋祭り	秋のスイーツを食べて楽しく過ごす	

年	月	日	行 事	備 考	
29年	11月	18日	東榛原幼稚園慰問	幼稚園児に大喜び	
		19日	買い物ツアー(クレーレ)	榛原サンクシティでご家族の方とお買い物	
		25日	ごちそうの日	ちらし寿司	
		26日	買い物ツアー(3階)	榛原サンクシティでご家族の方とお買い物	
		27日	買い物ツアー(2階)	榛原サンクシティでご家族の方とお買い物	
	12月	15日	クリスマス会	ケーキ作り・プレゼント渡しを楽しむ	
		31日	忘年会	年越そば	
	1月	1日	元旦	祝い膳	
		2日	初詣	墨坂神社にて初詣	
		11日	書初め会(2階)	皆で書初めを楽しむ	
		15日	餅つき大会(3階)	もちつきを楽しむ	
		27日	ごちそうの日	ちらし寿司	
		2月	1日	節分(2階)	豆まきをして楽しむ
			3日	節分	節分料理
	3日		節分(3階)	豆まきをして楽しむ	
	24日		ごちそうの日	ちらし寿司	
	3月	3日	ひな祭り	ちらし寿司	
		20日	春のお彼岸	甘いおはぎに大喜び	
		22日	消防訓練(全体)	皆で真剣に取り組み	
		24日	ごちそうの日	ちらし寿司	

(14) 週間予定表・日課表(本館・クレーラー)

[本館]

	午 前	午 後
月	クラブ活動 レクリエーション PTリハビリテーション指導	入浴(3F女性) PTリハビリテーション指導
火	クラブ活動 レクリエーション PTリハビリテーション指導	入浴(2F女性)(2F,3F特浴女性,一部男性) 回診(3F) PTリハビリテーション指導
水	クラブ活動・PTリハビリテーション指導 レクリエーション シーツ交換(2F)	入浴(特養・ショートの特浴)(2F,3F男性) (一部女性) PTリハビリテーション指導
木	クラブ活動 レクリエーション PTリハビリテーション指導	入浴(3F女性) 回診(2F) PTリハビリテーション指導
金	クラブ活動・PTリハビリテーション指導 レクリエーション シーツ交換(3F)	入浴(2F女性)(2F,3F特浴女性,一部男性) PTリハビリテーション指導
土	レクリエーション PTリハビリテーション指導	入浴(特養・ショートの特浴)(2F,3F男性) PTリハビリテーション指導
日	PTリハビリテーション指導(月2回)	

7	起床、更衣、洗面	基本的な排泄介助
8	朝食(7:30~8:30)	
9		
10	オリジナル体操	
11	通院、クラブ活動(週2~3回)	
12	昼食(12:00~13:00)	
1	ゆとりの時間、回診(週2回)	
2	入浴(月~土曜日)	
3	おやつタイム	
4		
5		
6	夕食(18:00~19:00)	
7	ナイトケア	
8		
9	消灯	

[クレアーレ]

	午 前	午 後
月	クラブ活動 入浴 シーツ交換	入浴 シーツ交換
火	クラブ活動 シーツ交換 入浴	入浴 シーツ交換
水	クラブ活動 シーツ交換 入浴	入浴 シーツ交換
木	クラブ活動 入浴 シーツ交換 PTリハビリテーション指導	入浴 シーツ交換 PTリハビリテーション指導
金	クラブ活動 入浴 シーツ交換	入浴 シーツ交換 回診
土	クラブ活動 入浴 シーツ交換	入浴 シーツ交換
日		

7	起床、更衣、洗面	基本的な排泄介助
7	朝食 (7:30~8:30)	
8		
9		
10	通院、クラブ活動、レクリエーション	
10	入浴	
11		
12	昼食 (12:00~13:00)	
1	ゆとりの時間、入浴 (13:30~)	
2		
3	おやつタイム	
4		
5		
6	夕食 (18:00~19:00)	AM 0:00 1:00
7	ナイトケア	3:00 4:00
8		5:00
9	消灯 (21:00)	

(15) 給食の状況(特養)

給与栄養量

特養	エネルギー Kcal	たん白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール 当量 ugRE	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg
1人1日平均 給与量 A	1,612.0	58.6	44.2	644	6.5	671	0.79	1.07	108
給与目標量 B	1,600.0	60	44	656	6.5	650	0.8	1	100
充足率A/B×100	100.7	97.7	100.5	98.2	100	103.2	98.8	107	108

イ、献立方針

毎食の残飯調査や嗜好の聞きとりで、入所者に好まれる食事で、食べやすい物を提供出来るよう工夫・検討すると共に、食事により季節感が味わえるよう心掛けている。

ロ、栄養基準量の算出根拠

『日本人の食事摂取基準(2015年度版)』の身体活動レベル I (低い【1.45】)より算出する。

